



農林水産部



受賞した喜屋武自治会関係者



糸満市喜屋武集落は、先の大戦における激戦地であり、戦後の復興期より女性が「農」と「むら」を興してきた経緯が色濃く引き継がれることに加え、強固な住民団結力を育み、地域ぐるみの自治会活動が中心となって域内の産業振興、とりわけにんじんの産地形成を牽引してきました。

このような取組が評価され、この度の受賞に至りました。

糸満市喜屋武集落の取組について紹介します。



にんじん収穫体験



喜屋武集落の女性たち

喜屋武集落のみなさん、受賞おめでとうございます!

喜屋武ハーリー
チリタンチョウ

平成21年度(第48回)農林水産祭むらづくり部門において、糸満市喜屋武集落(代表者・慶留間清栄自治会長)が内閣総理大臣賞を受賞しました。

喜屋武集落は、先の大戦における激戦地であり、戦後の復興期より女性が「農」と「むら」を興してきた経緯が色濃く引き継がれることに加え、強固な住民団結力を育み、地域ぐるみの自治会活動が中心となって域内の産業振興、とりわけにんじんの産地形成を牽引してきました。

このようないくつかの取組が評価され、この度の受賞に至りました。

糸満市喜屋武集落の取組について紹介します。

喜屋武集落の土壌は保水力に乏しい「島尻マージ」で、干ばつ被害が頻発するなど厳しい生産環境下にありました。しかし、農業「から「水あり農業」への転換を望む住民の熱意により、地下ダム整備、土地改良事業の実施が実現しました。これにより、さとうきび、にんじんの生産が向上するとともに、ゴーヤーの施設栽培など多様な農業生



農林水産祭事業は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業の技術改善と経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と日本農林漁業振興会との共催により、昭和37年から実施されています。

表彰は、農林水産祭参加行事の7部門(農産、園芸、畜産、蚕糸、林産、水産、むらづくり)の優秀者に対し、部門別に天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会长賞が授与されます。